

3 - 12 相模灘付近の海底地形，地質構造について

Submarine Topography and Geological Structure

Approaches to Sagami-nada

海上保安庁水路部

Hydrographic Department, Maritime Safety Agency

大陸棚の海の基本図測量（1 / 20 万）作業の一環として，昭和 51 年度に実施した伊豆大島以南，新島に至るまでの海域の海底地形，地質構造の調査結果について，その概要を報告する。なお，第 1 図および第 2 図には既報の 1968 年測量 1 / 20 万¹⁾，1976 年測量 1 / 5 万²⁾³⁾ および 1977 年測量 1 / 5 万³⁾の各資料を加えて編さんしたものを示してある。

1. 海底地形

伊豆大島南方の堆，新島，式根島および神津島が形成する NE - SW の島（堆）列に並走して利島ほかの島・堆列がある。伊豆半島と島・堆列間は相模トラフと南海トラフ北東端の鞍部となっており，島・堆列の東方は相模トラフに面する大陸斜面となっている。新島の東には大陸斜面を下刻する顕著な海底谷があり - 200m 付近に発し - 2,500m 付近の相模トラフに開口する。谷軸は東流したあと房総半島南方で北北東に転ずる。

2. 地質構造（第 2 図）

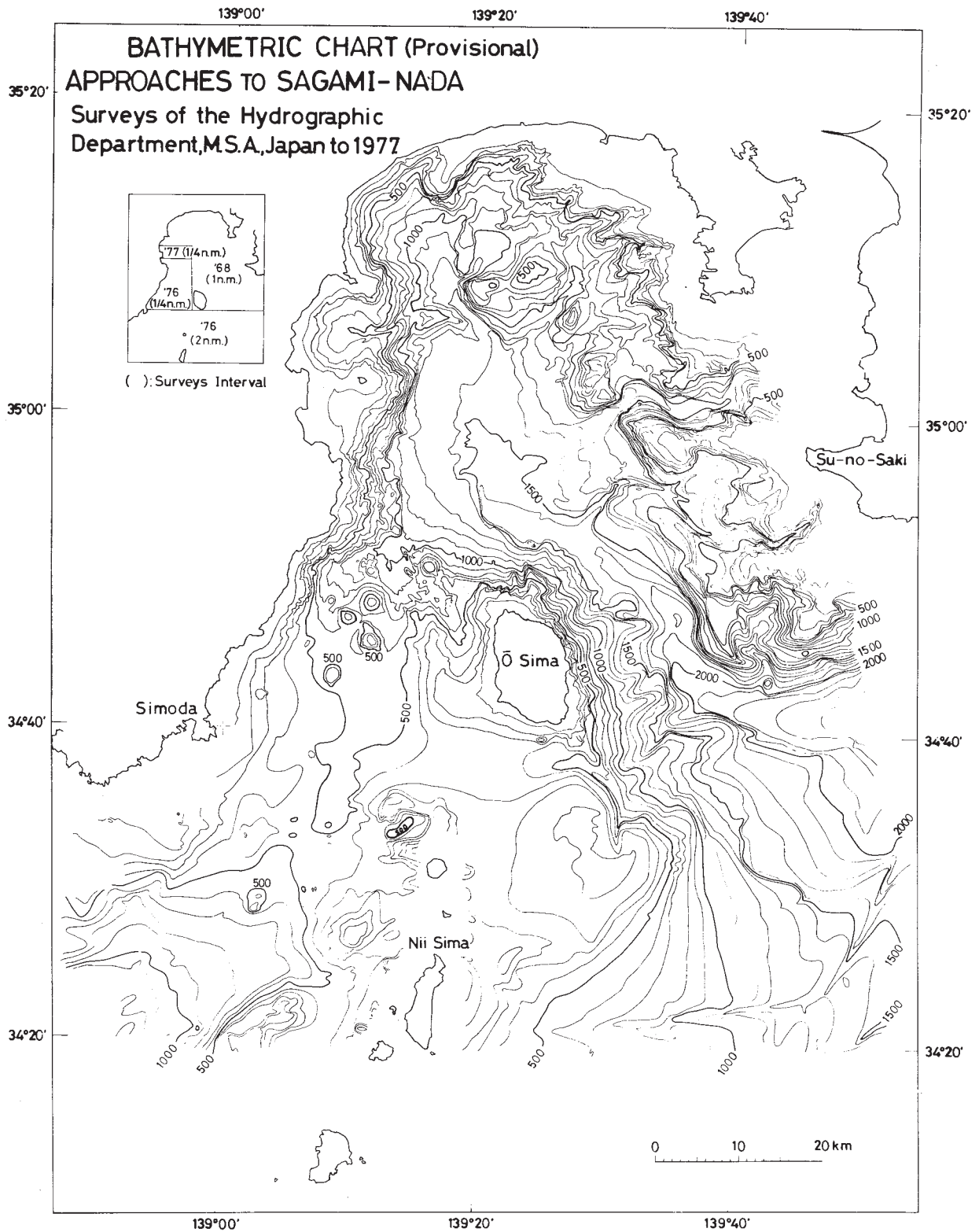
伊豆半島，島・堆列間の鞍部は構造上大きな向斜状を呈し，一方相模トラフを挟む房総半島側の複雑な急斜面と，伊豆七島側の地すべりや海底谷に刻まれる比較的厚い堆積層の緩斜面は特徴的である（第 3 図）。

断層，褶曲は島・堆列にやゝ斜交する ENE - WSW とほぼ直交する NW - SE の方向がみられる。新島東方の海底谷上流部は ENE - WSW の断層に沿っている。

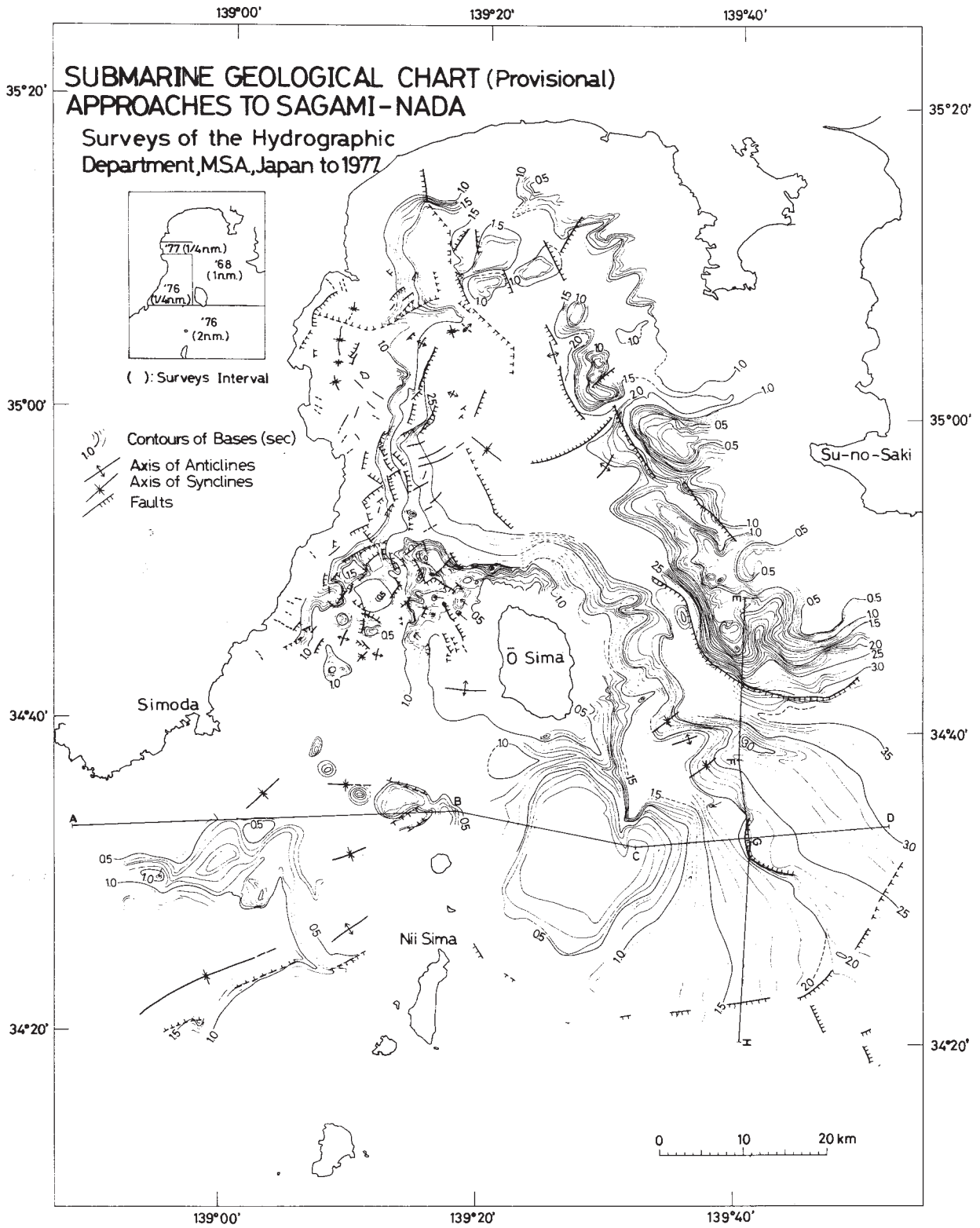
（青 俊二）

参 考 文 献

- 1) 海上保安庁水路部：相模湾海底地形地質構造調査報告，連絡会報，4（1970），35～39.
- 2) 海上保安庁水路部：東伊豆沖（相模湾南西部）の海底地形・地質構造について，連絡会報，18（1977），64～67.
- 3) 海上保安庁水路部：相模湾西部の海底地形，地質構造について，連絡会報，19（1978）

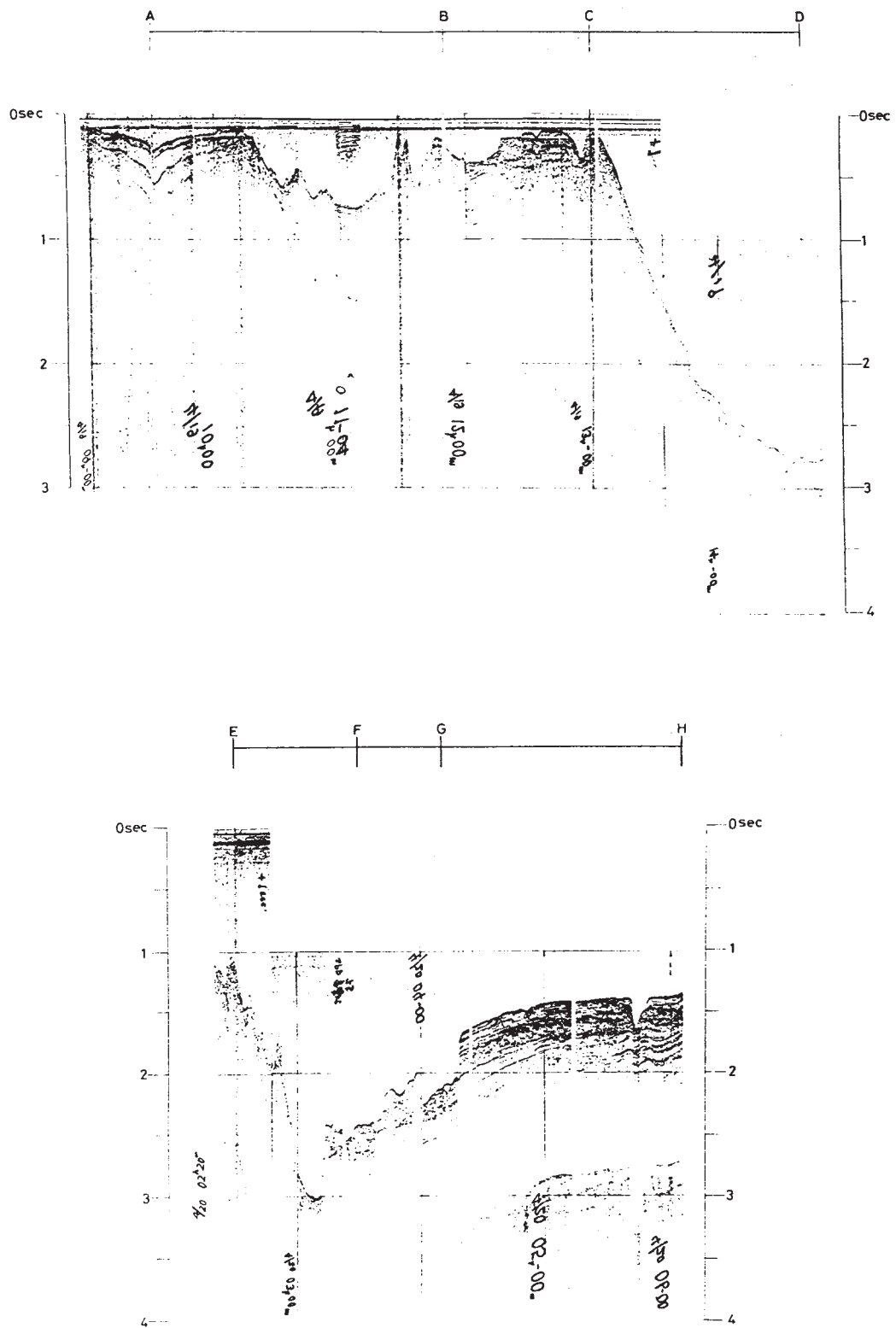


第 1 図 海底地形図 (暫定)
 Fig. 1 Bathymetric Chart (provisional).



第2図 地質構造図（暫定）

Fig. 2 Submarine Geological Structural Chart (provisional).



第3図 音波探査断面
 Fig. 3 Continuous Seismic Profile.